

○梅雨の時期ならではの見どころをご紹介します。

○梅雨の晴れ間によく映える、大輪の大賀ハス

■毎年6月下旬になるとハス池には「大賀ハス」が咲き始めます。1975年に千葉市から頂いた大賀ハスの根2本を大切に育て、現在は3000㎡のハス池を埋め尽くすほどになりました。大賀ハスは別名「古代ハス」とも呼ばれ、通常のハスより大きな花を咲かせます。咲いている花に近づくと、太古から変わらぬ高貴な香りを楽しむことができます。

●大賀ハスとは？

千葉市で約2000年前の地層から蓮の実が3個発見され、そのうち1個の発芽に成功。発掘にあたった大賀一郎博士の名にちなみ、「大賀ハス」と名付けられました。



●ロータス効果とは？

ハスの葉は「泥より出でて泥に染まらず」といわれるように、その表面が水をはじく構造になっています。葉に落ちた水滴が表面の汚れや昆虫をからめとり、ハスの表面を清潔な状態に保つ自浄機構が備わっています。この仕組みをロータス効果といい、ヨーグルトのアルミの蓋の裏側など、私たちの生活の身近なところで応用されています。

○アジサイの七変化(しちへんげ)

■アジサイは七変化(しちへんげ)と呼ばれるように、咲き始めから徐々に色が変化する花として知られています。はじめは黄緑色で、やがて青くなり、赤くなり、最後は緑で終わる、というように、時間と共に花の色が変化します。アジサイ自身が持つアントシアニンという成分で赤色になりますが、ここに吸い上げる土の成分が加わることで花の色が複雑に変化するんですよ。

●アジサイと土壌の関係

アジサイは吸い上げる土の成分によって花の色が変化します。土壌が酸性なら青色、アルカリ性なら赤色です。日本の土壌は酸性が多いので、大体のアジサイが青色ですが、コンクリートなどアルカリ性の物質の近くでは赤色に変化します。リトマス試験紙とは逆の反応になりますね。



○ヘメロカリスってなに？

■6月下旬に見ごろを迎えるヘメロカリスはキスゲやノカンゾウなどを品種改良したものです。古河公方公園のヘメロカリスは、同じ古河市内にある公園ネーブルパークから株分けしたもので、時期になると黄色や赤など様々な色の花を楽しむことができます。



○日陰にひっそり咲く野草ユキノシタ

■湿気の多い場所に生える植物で、白くてかわいらし花を咲かせます。また、丸くて縞模様のある特徴的な葉を持ちます。食用として、また薬草として昔から利用されていたそうです。



○熱中症に注意！ 蒸し暑い時期なので、水分をしっかりと摂って体調管理に気を付けましょう。

【発行】(一財)古河市地域振興公社 古河公方公園(古河総合公園) 〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索